

PRESS RELEASE

2009年1月27日
 株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、自社サービスとネットワーク設備におけるIPv6への対応状況を発表

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)は、このたび自社のサービスとネットワーク設備における、次世代インターネットプロトコル「IPv6」^(*)への対応状況をまとめ、以下の通り発表いたします。今後 IIJ では、順次サービスとネットワーク設備の IPv6 対応を進めていくとともに、対応の状況について定期的にご報告していく予定です。

【背景】

現在インターネットの世界で利用されている通信プロトコル「IPv4」は、インターネットに接続するために必要な IP アドレスの空間を約 43 億個持っています。しかし、世界的にインターネット利用者は増加の一途をたどっており、今後数年間で、新規に割り当て可能な IP アドレスの在庫が枯渇すると予測されています。総務省が 2008 年 6 月に発表した報告書によると、国際的な IP アドレスの在庫は 2010 年半ば～2012 年初頭に枯渇し、日本国内でも 2011 年初頭～2013 年半ばまでには、IP アドレスの新規割り当てが不可能になるとされています。今後、ブロードバンドが世界中で普及していくにつれて、IPv4 アドレスのさらなる消費が見込まれるため、インターネットの発展を維持していくためにも、広大なアドレス空間をもつ IPv6 への移行が不可欠になっています。

IIJ では、1999 年に日本で初めて IPv6 商用実験サービスを開始して以来、業界に先駆けて IPv6 の普及・促進に取り組んできました。今後は、サービスやネットワークの IPv6 対応を積極的に推進することで、インターネットのさらなる発展を促し、お客様にとってより快適で利便性の高いインターネット環境を提供していきます。

(*) 次世代インターネットプロトコル。現行のインターネットプロトコル「IPv4」をベースにして、アドレス空間の増大・セキュリティ機能の追加などをおこなう。

■IIJ サービスの対応状況一覧

サービス名	対応時期	制限
インターネット接続サービス	対応済み	
マネージドルータサービス	対応済み	お客様ネットワークに別途 IPv4 アドレスが必要。対応機種の制限あり。
SEIL レンタルサービス	対応済み	一部機能を除く。
IIJ DNS サービス	対応済み	一部機能のみ対応。
IIJ データセンター接続サービス	2009年4～6月	
IIJ Web ハイグレードサービス	2009年4～6月	Web サーバのみ対応。
IIJ マネージドファイアウォールサービス	2009年7～9月	お客様ネットワークに別途 IPv4 アドレスが必要。対応機種の制限あり。
IIJ 大規模コンテンツ配信サービス	2009年7～9月	エンドユーザーからのアクセスのみ対応。

(*)詳細については下記ページをご覧ください。

<http://www.ij.ad.jp/service/IPv6schedule/index.html>

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 富永、川上

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail : press@ij.ad.jp URL : <http://www.ij.ad.jp/>